

スーツケースキャスター交換手順(シングルタイプ)

 **取り外しが最重要です!!**



手順1

キャスターの軸を固定する

スーツケースのキャスターの軸を極薄型プライヤーで掴みます。その際、キャスターの種類によっては軸に隙間がない場合があるのでプライヤーで軸が出てくるまで樹脂を引きちぎって、軸をむき出してしっかり掴んでください。



手順2

電動ドリルで軸を削る

電動ドリルに鋼鉄用ドリル刃(軸径に対して-0.5mmくらい)を装着して軸のカシメられた部分を削ぎ落とします。**ドリル刃や軸が摩擦熱を発するため、土台の樹脂が溶けるおそれがあります。**切削用の潤滑スプレーなど使用し高熱を帯びないようにして下さい



手順3

軸のカシメを壊して取る

ドリルで穴を空けていくと、カシメられた部分が取れたり、傾いたりします。そうになったら先程使用した極薄型プライヤーやペンチなどでカシメた部分を引きちぎってください。



手順4

カシメ以外の軸を抜き取る

カシメ部分を抜き取った後は、残りの軸を引き抜きます。先ほど取ったカシメ側からドライバーなど差し込み、ハンマーで叩いても構いませんし、キャスターをひっくり返して、ネジの頭の方から引き抜いてください。



手順5

SUSパイプのサイズ調整をする

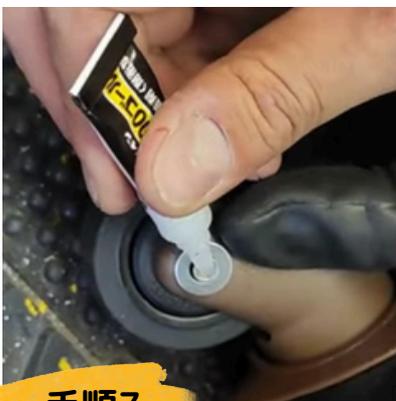
新しく用意したキャスターを装着し、SUSパイプを差し込み、SUSパイプの長さの調整を行います。この際、パイプ両端にワッシャーを仕込んだ上で長さの調整を行ってください。サインペンなどで削り込む位置に印をつけます。



手順6

SUSパイプをフィニッシャーで削る

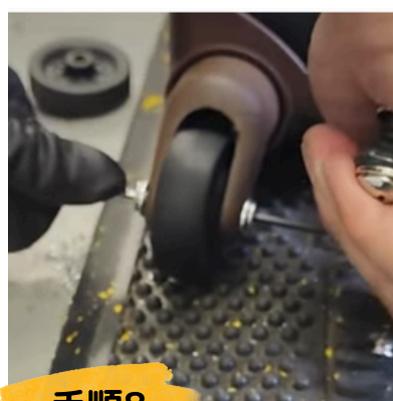
印をつけたところまでSUSパイプを削り込みます。靴修理のフィニッシャーで削るか、パイプカッターで切断してください。バリがやすいので、バリは手ヤスリしてもらるか、細目のペーパーで落としてください。



手順7

瞬間接着剤をネジ穴に注ぐ

削り込んだSUSパイプを差し込み直し、ワッシャーを乗せて、パイプの内側に瞬間接着剤を流し込み、ネジ部を装着してください。瞬間接着剤を注ぐことにより、パイプネジが緩みにくくなります。



手順8

六角レンチで締める

2本の六角レンチ(3mm)でSUSパイプ・ネジを両側から締め上げます。しっかり締めていただき、その後きれいに回転すれば完了となります。



手順9

きれいに回転するかチェック

回転をチェックしていただき、問題なければこちらで手順は完了です。パイプネジをあまり削りすぎると、ネジの締めすぎにより、回転が悪くなるため、ご注意ください。

スーツケースキャスター交換手順(ダブル・ベアリングタイプ)

 軸の取り外しはシングルタイプと同一なので省略させていただきます。シングルタイプを参照ください。



手順1

元の車輪・軸を取り外す

シングルタイプと同様に極薄プライヤーで抑え込みながらドリルで軸を切削します。写真はタイヤと軸を取り外した状態です。車輪と軸の取外しに関してはシングルタイプの説明書をご参照ください。



手順2

図のように各パーツをセットする

図のようにまず片方の車輪にSUSパイプを通し、内側の方にスペーサー、ワッシャーの順にセットします。これにより、軸と車輪の直接的な接触が無くなり、ベアリングの機能が十分に発揮され、綺麗に回転します。



手順3

手順2の状態でもう一方の軸受に通す

手順2の状態のまま、軸受に通します。この際、純正の状態よりも車輪と軸受の間隔が広がる可能性が高いので、その場合は元の軸よりも少し長めのパイプが必要になる可能性があります。



手順4

図のように各パーツをセットする

手順3の状態、車輪側をしっかり抑え込んだまま、ワッシャー、スペーサーの順番にセットできれば、そのままもう一方の車輪もセットしましょう。



手順5

SUSパイプのサイズ調整をする

SUSパイプの長さの調整を行います。サインペンなどで削り込む位置に印をつけます。SUSパイプが長すぎると、スペーサーが緩み、ベアリングの機能が最大限発揮できないので、しっかり抑え込んで印をつけてください。



手順6

SUSパイプをフィニッシャーで削る

印をつけたところまでSUSパイプを削り込みます。靴修理のフィニッシャーで削るか、パイプカッターで切断してください。バリがやすいので、バリは手ヤスリしてもらるか、細目のペーパーで落としてください。



手順7

瞬間接着剤をネジ穴に注ぐ

削り込んだSUSパイプで、再度手順4までの通りにパーツをセットしたら、パイプの内側に瞬間接着剤を流し込み、ネジ部を装着してください。瞬間接着剤を注ぐことにより、パイプネジが緩みにくくなります。



手順8

六角レンチで締める

2本の六角レンチ(3mm)でSUSパイプ・ネジを両側から締め上げます。しっかり締めていただき、その後きれいに回転すれば完了となります。



手順9

きれいに回転するかチェック

回転をチェックしていただき、問題なければ付属の蓋を被せていただければ完成です。蓋は何度も着脱するとツメが折れやすいため、回転のチェックは必ず蓋を閉める前に行ってください。